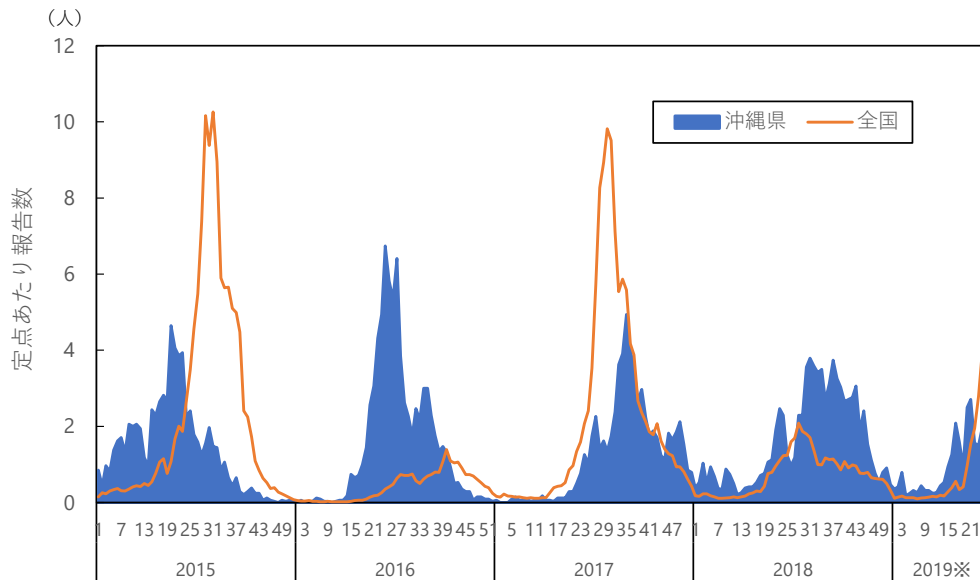


手足口病の発生動向(2010年～2019年第26週現在)

手足口病とは、その名のとおり、手足、口の中に現れる水疱性の発疹を主症状とする感染症です。4歳までの幼児を中心に夏期に流行します。感染経路は主に経口感染、飛沫感染、糞口感染があります。手洗いをしっかり行うことが予防のために重要です。

1 定点あたり報告数の推移

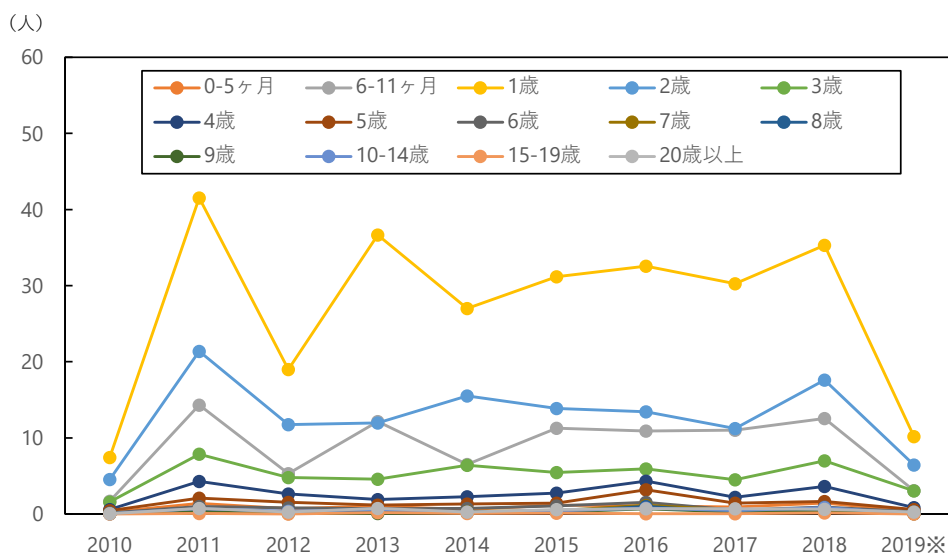
沖縄県の定点あたり報告数は、おおむね夏期を中心にピークをつくっています。いずれの年も沖縄の定点あたり報告数の最大値は全国のそれより小さいです。



※2019年第25週の定点あたり報告数は速報値です。

2 年齢階級別定点あたり報告数の推移

いずれの年も1歳でもっとも多く報告されており、次いで2歳、6-11ヶ月の順となっています。また20歳以上でも報告されています。



※2019年第25週の定点あたり報告数は速報値です。